



童謠遊戯について

戸 倉 ハ ル

一、本質

最近の教育思潮はすべて子供を能動的に取扱ふやうになつてをりますが、これはいろ／＼な方面から子供を研究した結果子供の本質が自動的であるからみだりに他から動かすべきものでもなし、また動かされるのを好まないところから來たものであると思はれます。

子供はなか／＼詩人であり、藝術家であります。子供はよく歌い、またよく踊ります。あの無邪氣に歌い、且つ輕快に踊るのを見てをると全くそれが一つの劇となつてをります。子供は大へん劇を好みます。さうしていろ／＼な眞似をしてあらゆるものを劇化してをります。これはこの時代に現

はれます一つの本能であつて、それに依つて自己表現と自己訓練とを自然にしてまゐります。この有動性、活動性を傷けないで、なほよりよく伸ばしていくところに眞の教育的使命があるだらうと考へられます。

近ごろ學校劇とか、唱歌劇、さては童謠劇と申して盛んに行はれてをりますが、これは子供の本質に着目して出發した結果であります。

人間は歡べば手の舞ひ、足の踏むところを知らずなど申しますが、よく手足を動かして踊ります。これは歡びに伴ふ身體的變化で、最も自然的な表情であります。とにかく歌はずにはをられないし、踊らずにはをられないものであります。さ

うして歌ふとすれば其のリズムに伴つた運動が起つて來ます。つまり童謡と共に踊るといふ一つの運動が伴つて來るのであります。かうした自然の踊りを整理指導して、正しい運動にまで導いたものが即ち童謡遊戯であります。

更らに言葉を換へて申しますれば、童謡は純な子供の自然觀照から産み出された一つの詩であるとするならば、童謡遊戯は、その純な詩に依つて意味づけられた、一つの物語であると見て差支へありません。

要するに童謡遊戯の本質は子供の模倣的本能を土臺とし、自然的發表動作を基礎として作り出されたものでありまして、これに依つて子供の創造本能や、藝術的衝動を適當に誘導し、かたはら童謡に現はれた子供の豊かな感情や、活きた欲望、萬物に對する敏感性などをそのまゝ伸ばしていくのであります。

二、題材

題材の選擇について、最も必要な條件は、第一それが子供の經驗界に觸れてゐるか否かでありまゝす。まだ經驗したこともなく、教へられても想像も及ばないやうなものは子供の興味を惹き起すことが出來ませんから不適當であります。例へば大都會に生れた者が農事の狀況を話しても分からなしいし、僻地に育つたものが、目まぐるしい都會の狀態を解しないと同じこととあります。其の他平野のものが山を見ず、山地のものが海を知らないのも同じ類であります。同一の題材同一の動作でも、或る地方には適し、或る地方の子供には全く想像だに及ばないで、興味の無いものとなることがあります。このやうに題材の範圍も大に狭くなつてまゐりますが、然し子供の思想外にあるものでも容易に理解し得るものは、差支へないばかりでなく、却て智を磨き、徳を進むる上に利益が多

いのであります。

次にどんな種類の題材が子供に興味があるてせうか。蓋し、自然界の現象は一般に子供に取つては奇妙の感を持たせるものであります。例へば雨雪、日月、山河等は比較的興味のある題材だし、又動物などに對しては、これを自分と同等のものとして、交際するのでありますから、日常親しくしてをる鳥獸魚類等は一層興味深い題材であります。其の他植物については、其の花葉の美しいところが子供の面白く感ずるものでありますから、これを適當に現はしたのも亦好むところであります。尙ほいろ／＼な人事的關係を現はしたものの例へば物語の歌とか、汽車、汽船、水車、風車などの様に日々に觀察してゐるものも多くは取つてもつて好い題材と見て結構であります。

要するに子供の環境に依つて觀察經驗すること
が違つてまゐりますから、教師は土地の狀況、天

候、氣候の關係、子供の發達狀態等を顧みた上適當に題材を選ばなければなりません。

三、樂曲

童謠と曲とは唇齒以上に密接な關係をもつてをりまして、互に相容れなければなりません。すべて童謠に限らず唱歌の類が人心を捕へるのは、其の歌の内容よりは曲に依る方が多いといふことはどなたも認むるところであります。童謠の曲を聽いてゐるうちに獨りて子供が歌いだし、また、踊り出すやうでなければなりません。近ごろ童謠の曲譜が雜誌に見えたり、又曲譜集に現はれたりしますが、これは子供に取つて喜ばしい現象であります。今後ますます研究していたゞいて本當によい子供の心性に觸れた曲譜がどん／＼刊行されるやう祈つてをります。私は作曲法なんかわかりませんが、童謠遊戯實施の上から次のやうなことを考へてをります。

す。

(イ) 音域

音域は狭小なもので、高低度を越さず、極めて簡単なものが望ましい。

(ロ) 拍子

拍子は二拍子が最も適當で、四拍子これに次ぎ、其の他の拍子はあまり六つかし過ぎて不適當であります。

(ハ) 旋律

子供の趣味に合つた、同一の旋律の反覆から出來てをる單純なもの、然も輕快で活潑な意氣を鼓舞するものが適當であります。大人の感情に適應するからといつて、これを子供に用ゐるのは大によろしくないことあります。

キンダーブック

キンダーブックが發刊せられたことを祝します。從來の子供繪本と異り面白い點が多くあるやうに思はれます。多くの繪本に見受ける缺點、幼兒には見聞させたくないやうな内容を持つてゐないことだけでも誠に喜ばしいことですが、更に幼兒の教育を十分に考慮して教育的價値を十分に發揮した苦心が多く見えます。従つて家庭に於ても幼稚園に於ても幼兒に見せる繪本として推賞することが出来るものと思ひます。尙ほ普通の子供雜誌と異り月を争ふものでないことも子供繪本としてよい點だと思ひます。

(フレールベル館發行 定價五十錢)